

危険な場所とは

入りやすい場所

犯罪者が、怪しまれることなく、簡単に子供に近づける犯罪者が好む危険な場所です。

見えにくい場所

犯罪者が、目撃されにくく、発見・通報されることがなさそうな、犯罪者が好む危険な場所です。



この2つのキーワードが重なる場所が危険な場所!

具体的には…

・駐車場、駐輪場、高架下や地下道、歩道橋、管理されていない空き地や空き家、公衆トイレ（駅やスーパーを含む）、商業施設や繁華街など

★心理的に見えにくい場所

落書きが放置されている。ごみが散らかっている。

→周囲の人の無関心を連想させるため、犯罪をやりやすいイメージができてしまう。



子どもたちが危険な場所を見分ける力をつけるとともに、大人が安全な地域を作る必要がある。

安全な地域を作るためには

「入りやすく」、「見えにくい」場所をなくす!

具体的には…

ガードレール・植え込み・車止め等で「入りにくい」環境を作る。

視界を遮る塀・植物等を撤去する。子ども安全協力の家の看板を掲示する。地域の掲示板の内容を常に新しくする。ごみステーションを適切に管理する。

ホットスポットパトロールが効果的!

ホットスポットパトロールとは…

地域の犯罪が起こりやすそうな場所「入りやすく」「見えにくい」場所（ホットスポット）を1箇所につき、15分程度滞留して見回るパトロール

回る順番や時間帯を変えながら行うことで、いつパトロールがくるか分からないので、犯行がやりにくくなる!



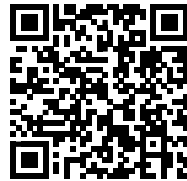
犯罪者に狙われたら？

犯人は20m手前から子どもに狙いを定め、5～6m手前で行動に移します。

- 1 大人から常に**3～4m**くらい距離をとる。
- 2 危険を感じたら、20mを全力で走って逃げる。
荷物（ランドセル）は捨てて逃げる！
- 3 **大声を出す。**
- 4 車の進行方向とは**逆方向に逃げる。**

群馬県の動画情報サイトtsulunos

「ぐんまちゃんと学ぼう！～防犯ブザーをならしてにげる」



上州くん安全・安心メール（群馬県警察）

登録すると、不審者情報等の防犯情報や交通安全情報などがメールで配信されます。



子どもの防犯に関する群馬県出前講座（ご案内）

○地域安全マップを作ろう！

犯罪から身を守る能力（危険回避能力）を高める体験型の防犯教育プログラムです。「入りやすい場所」「見えにくい場所」の2つのキーワードを使って、子ども自身が犯罪の起こりやすい危険な場所や安全な場所を見分けます。



○子ども向け防犯出前講座

子どもが誘拐や連れ去りなどの犯罪に巻き込まれないためには、地域・大人の見守りとともに、子どもが自らの身を守る力が重要です。発達段階に応じた各プログラムによって、楽しみながら、子ども自らの身を守る力を引き出します。



防犯に役立つサイト紹介

○子どもの安全対策
（群馬県消費生活課HP）



○子供のための安全対策
（群馬県警察HP）



<参考>

小宮信夫「子どもは『この場所』で襲われる」 中央精版印刷株式会社 2015年 189ページ

小宮信夫「見てすぐわかる犯罪地図 なぜ『あの場所』は犯罪を引き寄せるのか」 株式会社青春出版社 2015年 173ページ